

第 44 回 夕張川流域会議 議事要旨

日時：令和 5 年 6 月 9 日（金）13：00～15：30

場所：南幌町ふるさと物産館「ビューロー」



<議題>

- ・今年度の夕張川流域会議の進め方と目的確認、前回流域会議の振り返り、石狩川水系夕張川河川整備計画について説明
- ・夕張川の現状把握・情報整理についての意見交換

<主な意見>

■夕張川をどのような川にしたいか

- ・昔は魚釣り、タニシ採りをした。冬に川に落ちたこともある。川が遊び場になっていた。
- ・夕張川自然再生協議会は、2008 年からサケの自然産卵を目指して活動している。地域がもっと川に誇りを持ち、愛されるような川にしたい。
- ・魚が泳いでいる姿が見えて、憩い合えるような場所がある川になると良い。
- ・サケ稚魚放流や河川清掃等、様々な活動を行っている。安全面を含めて地域が親しみを持てる川になると良い。
- ・流域住民が気軽に川遊びができるような階段や看板、家族で魚採りができる場所があると良い。サケが遡上できるように落差工も改修していきたい。
- ・草原性の鳥にとっては、河川敷の草原が生息地になっている。もっと多様な環境があれば、希少性の高い鳥も生息できるのではないかな。
- ・河川改修後の草原は外来種が入り単調になる。かつての幌向湿原のような環境、川が再現できると良い。
- ・高齢者が気軽に野鳥観察ができるように、歩きやすく散策しやすい川になるとよい。
- ・安全で遊びやすい川が望まれている。かつての子供は、地域の見守りや川遊びでいろいろなことが身に着いた。

■夕張川の利用環境について

- ・河川堤防を利用したフットパスを実施しているが、トイレや休憩する場所が少ないと感じる。
- ・夕張川は様々な植物や鳥たちを見ることができるが、レジ袋等のゴミも多い。
- ・夕張川で湿原再生事業が進んでいるが、景観を良くして公園的な利用をするためにも地域に

もっと認知してほしい。

■夕張川の川づくりについて

- ・ この流域会議で夕張川の断面形の議論をした時、水を自由に動かせるような川づくりが必要との想いを込めて、横断方向に緩傾斜の掘削を行う断面形を整備計画に載せていただいた。そのような配慮がなされた整備計画は少ないと思う。
- ・ 委員が望んでいる安心して活動できる川にするためには、ダムによる流量変化や河道への影響について十分に分析・評価を行った上で、今後の河道計画を考えることが重要である。
- ・ カワヤツメの生息環境が減少している。水が自由に流れるような環境を整えることができれば次第に回復すると思う。
- ・ 河川改修によって人が川に近づくことができなくなってしまうと、心の豊かさを奪ってしまう。今後の河川事業は、人の心の豊かさを取り戻す事業でありたい。それが多自然川づくりだと思う。
- ・ NP0 法人雨煙別学校では、夕張川でいろいろな体験学習をしている。活動フィールドやボート発着場、トイレや水道等も必要になる。
- ・ 地域活動に適したフィールドがたくさんあるわけではない。地域活動を継続するには、夕張川が自らの営力でつくってくれる環境が重要である。環境に配慮して整備していただいた河道が、安定した形で維持されるような川づくりを進めてほしい。

＜参加者リスト＞

	分 野	氏 名	所 属
1	行 政	正国 之弘	江別河川事務所長
2	〃	羽田 節雄	夕張川ダム総合管理事務所長
3	〃（岩見沢市）	山下 徹	建設部 建設管理課長
4	〃（由仁町）	岩花 司	建設水道課長
5	〃（北海道）	三浦 悟	空知総合振興局札幌建設管理部 長沼出張所 所長
		後藤英嗣	空知総合振興局札幌建設管理部 同 岩見沢出張所 施設保全室長
6	環 境	妹尾 優二	流域生態研究所長
7	農 業、利水者	飯田 修久	水土里ネット由仁 (由仁土地改良区)理事長
8	環 境	諸橋 淳	「おっ鳥クラブ」
9	N P O等	上野 千春	栗山オオムラサキの会
10	〃	記虎 大樹	一般社団法人 栗山青年会議所
11	〃	武岡氏（代理）	夕張川自然再生協議会 事務局長
12	〃	近藤 長一郎	特定非営利活動法人ふらっと南幌 代表理事
13	〃	橋本 壮吉	特定非営利活動法人ふらっと南幌 事務局長